

1. 主題名 友情の絆を深めていこう

2. 資料名 友だちだから (出典 彩の国の道徳 「夢に向かって」高学年 埼玉教育委員会)
[2-(3) 信頼・友情]

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、高学年の内容項目2-(3) [互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。] ことをねらいとしている。この内容項目は、低学年の内容項目2-(3)「友だちと仲良くし、助け合う。」、中学年の内容項目2-(3)「友だちと互いに理解し、信頼し、助け合う。」を経て、高学年の内容項目につながってきている。そして、中学校の内容項目2-(3)「友情の尊さを理解して心から信頼できる友だちをもち、互いに励まし合い、高め合う。」へと発展していく。

5年生の児童は、今まで以上に友だち関係を意識し、仲のよい友だちとの絆を深めたり、趣味を同じとする仲間意識が強くなる傾向がある。そのため、孤独感や疎外感を感じたり、友だち関係に悩みや不安を抱いたりすることがある。そこで、健全な友だち関係を育てていくことが重要である。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、友だちと仲良くしたり、協力したりする大切さについて知識としては、十分に分かっている。しかしながら、相手の気持ちを思いやれない言動をとったり、自己中心的な行動に走ったりする姿が時として見られる。そこで、これまで学年、学級で一丸となって様々なことに取り組んできた。運動会の組体操、林間学校におけるキャンプファイヤーでは、互いに理解し、信じ、助け合う様子が見られた。また、そうすることの楽しさや喜びを肌で感じてきた。

児童に行った意識調査は以下のようなものであった。

①あなたは、困っている友だちがいたら声をかけますか。	
はい 29人	いいえ 0人
②友だちが自分勝手な行動をしていたら、注意することができますか。	
はい 23人	いいえ 6人
③友だちがいてよかったと思う時はありますか。また、その時はどんな時ですか。	
はい 29人	いいえ 0人
一緒に遊んでいる時(20人) 寂しい時に声をかけてくれる(4人) 勉強を一緒にしている時(6人) 体調が悪い時、手伝いをしてくれた時、怒られた時、悲しい時に励ましてくれる	
④友だちに注意されてよかったと思うことはありましたか。	
はい 20人	いいえ 9人
⑤友だちに助けてもらった時、どんな気持ちですか。	
うれしい12人 良かった7 ありがとう6人 ほっとする人 わからない2人	
⑥友だちと強い絆でつながるためには、どんなことが大切だと思いますか。	
仲良く遊ぶ(10人) ケンカをしない(3人) 助け合う(7人) 悪口をいわない(3人) 正直な気持ちを言う 自分の気持ちだけでなく、友だちの気持ちを聞く	

アンケートの結果、学級の全員が困っている友だちに声をかけ、友だちがいてよかったと思うことがわかった。単に一緒に遊んでくれる優しさだけでなく、困っている友だちがいたら助けたりするには励ましてくれることを考えていることもわかった。

そこで、集団における自分の役割の自覚が進み、相手の身になって思いやる共感的能力が発達し、共によりよく生きようとしてくるこの時期に、本主題を取り上げることは、意義深いものと考えている。本時では、相手の気持ちや立場を思いやり、友だちを信頼した、共に高め合うこと

の大切さに気づかせたい。

(3) 資料について

本資料は、学年交流会を開くが、仲良しの友だちが家の事情から練習に出られなくなる。相手の立場に立って、考えることにより、真の友情が芽生える話である。

主人公のさつきたちは、学年交流会で劇をすることになった。ところが仲良しのみゆきが家の事情から練習に出られなくなり、クラスの劇を成功させたい思いの陽子や和美はそんなみゆきに無理して出なくていいと告げる。その考えになかなか賛成できないさつきは、思い切ってみゆきに手伝ってくれるように言うことから本当の友だちについて気づいていく。

練習に参加できないみゆきに対する不満な気持ちに共感できるようにし、葛藤するさつきの心情に迫り、やがて本当の友だちというものに気づいていく結末に目を向けるように話し合っていたい。友だち同士の相互の信頼の下に、協力して学び合う活動を通して、互いに磨き合い、高め合うような真の友情を育んでいきたい。以上の理由から、本単元を設定した。

4 研究主題とのかかわりと他の教育活動との関連

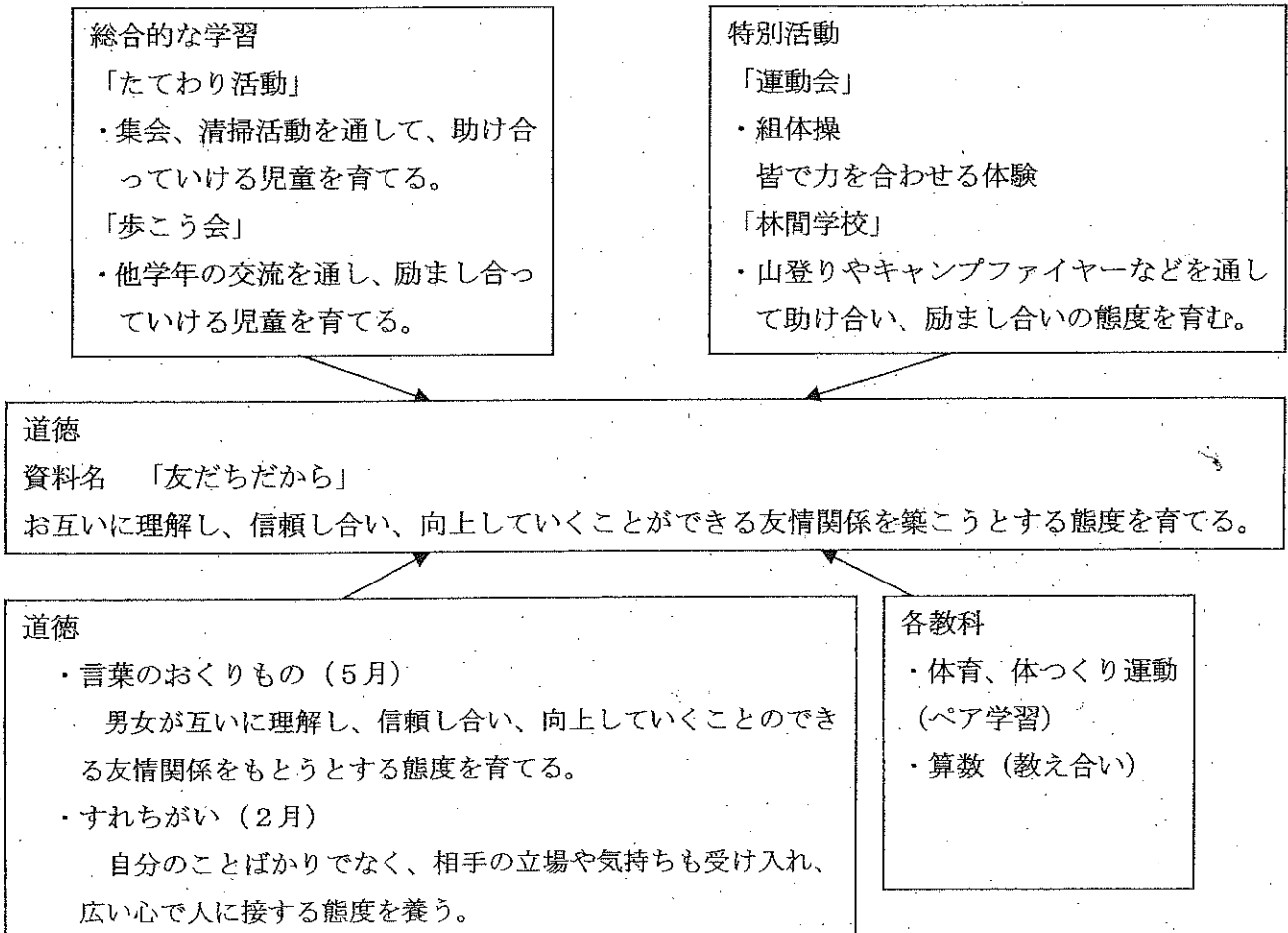
「生き生きと活動する児童の育成」

～豊かな心を育む道德教育の創造～

(1) 研究主題とのかかわり

- ・本時では、人とのかかわりの中で欠かせない「信頼友情」を育んでいく観点から、お互いに理解し合い、ともに高め合えるような真の友情に気づかせたい。
- ・児童一人一人に考えを持たせる工夫として、グループによる話し合いを取り入れる。それにより、少人数の中で自分の思いをしっかりと表現させたい。
- ・よりよく生きていこうとする実践意欲につなげる工夫として、終末では、運動会や林間学校の体験を取り上げることで、これまで積み上げてきた信頼友情に気づかせ、これからも、互いに認め合い、励まし合い、助け合っている児童の育成を目指して行きたい。

(2) 他の教育活動との連携



5 事前指導

- ・「ヒーローを探せ!」・・・帰りの会でがんばっている人探しをし、発表をする。
- ・道徳のオリエンテーションで、道徳の授業でどんなことを高めたいか話し合い、掲示した。

6 本時のねらい

お互いに理解し、信頼し合い、向上していくことができる友情関係を築こうとする態度を育てる。

7 学習指導過程

段落	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆◇評価【評価方法】	資料時間
導入	1 友情についての友だちの考えを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちをわかってくれる友だちがいるとうれしいな。 ・本当の友だちって、どんな友だちなんだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前のアンケート結果を掲示し、自分や友だちの考え方を確認させたり、ねらいとする道徳的価値についての方向づけをしたりする。 	4
とらえる	2 資料について条件・状況を知り、教師の範読を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物、条件、状況について知る。 ・主人公の気持ちを中心に、心に残った所に線を引きながら話しを聞く。 ・学習の方向性の確認を行う。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 登場人物 さつき(主人公) みゆき(相方) 陽子、和美 条件・状況 5年生になって組がえ、学年交流会で劇をやる。 みんなははりきって練習するが、4年生から仲良しだった、みゆきは、家の用事で途中で帰ってしまう。その日から練習を時々休む。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの時間を確保するため、条件、状況把握を丁寧に行う。 ・児童の感想を大切に柱立てを行っていく。 ◇児童が話の内容や状況をおさえられるような資料渡しの工夫ができたか。 ☆心に残った場面を見つけ、話し合おうとする意欲を高めることができたか。 <p style="text-align: right;">【観察・発表】</p>	8
発展	3 主人公の気持ちになって話し合う。 (1) 陽子や和美の話聞き、仲よしだったみゆきに不満を持ち始めたさつきはどんな気持ちだったでしょうか。 (2) みゆきのために話し合っている陽子や和美たちの意見を聞いているさつきはどんな気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・一体どうしたのかしら。 ・みんな困っているわ。 ・このままでは、うまくいかない。 ・みんなのことを考えると仕方ない。 ・どうしよう。 ・仲間はずれにするよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲よしだったみゆきに不満を持ち始めたさつきの気持ちに十分共感させる。 ☆みゆきに不満を持ち始めたさつきの気持ちに共感することができたか。 <p style="text-align: right;">【観察・発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇を成功させたい陽子や和美の考えとみゆきの気持ちを考えるさつきの心の葛藤をとらえ、じっくり話し合わせる。 	20
深める				

		ちでいるのでしょうか。	で、いやだな。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に考えを深め、グループによる話し合いの時間を確保する。 ☆さつきの複雑な思いについて、深く考えることができたか。【観察・発表】 「そうだ。後ろで家の…」に込められた友への思いと勇気から、真の友情について考えを深めていく。 ☆真の友情について、深く考えることができたか。【観察・発表】 	
		(3) さつきは思わず、「そうだ。後ろで家の…」の言葉にはどんな思いがこめられているのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> みんなでやらないと意味がない。 みゆきさんの気持ちがわかった。 みゆきさんだって、一緒にやりたいんだ みゆきの気持ちを分かかってあげられるのは、私だけ。 		
	見つめる	4 これまでの生活を振り返る。 ・今日の授業で学んだことや自分の生活を振り返り、プリントに書きましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 困っていた時に自分のことのように心配してくれた友だちがいて本当によかった。 相手の気持ちを真剣に考えて、これから学校生活を過ごしていきたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分を振り返らせ、これからの実践化に結びつけられるようにする。 ☆これからの自分の生活において、相手の気持ちを考えて前向きに乗り越えることの大切さを理解することができたか。【観察・プリント】 	8
終末	あたためる	5 教師の話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 組体操、みんなの力を合わせて、成功させた。 林間学校のキャンプファイヤーは、みんなの心が一つになった時だったね。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会や林間学校の時の写真を見せ、これまでの生活を見つめ、今後の実践への意欲化を図る。 	5

8 評価の観点

☆さつきの親友として自分の在り方に気づいていく心情について、深く考えることができたか。

【発言・観察】

◇導入や終末における資料提示の工夫は友だちの在り方について考えを高めさせる上で効果的であったか。

【発言・観察】

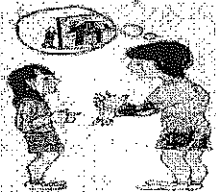
9 在籍

男子 17名 女子 13名 計 30名

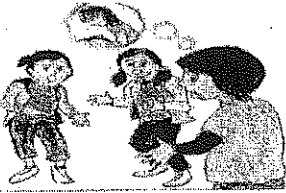
10 事後指導

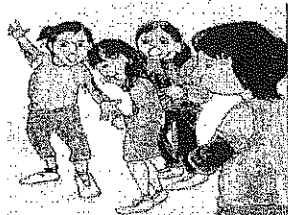
- ・学級通信に道徳コーナーを設け、各家庭に道徳で書いた感想を発信する。
- ・板書等で使用した物を掲示し、児童の道徳的実践力に対する意欲づけを行う。

11 板書計画



さつきは
思わず





登場人物

友だちだから

さつき

みゆき

陽子

和美

グループの人たち

学年交流会で劇をやる
はりきるグループ
時々休むみゆき
計画道理に進まない練習

♡

そうだ。後ろ・・・

♡

みゆきのための話し合い

♡

陽子や和美の話を聞きながら

みんなのことと考えると仕方ない。
・ どうしよう。
・ 仲間はすれにするようで、いやだな。

・ 一体どうしたのかしら。
・ みんな困っているわ。
・ このままでは、うまくいかない。

みんなのでやらないと意味がない。
・ みゆきさんの気持ちがわかった。
・ みゆきさんだって、一緒にやりた
いんだ
・ みゆきの気持ちをわかってあげら
れるのは、私だけ。

12 資料

友達だから

名前 ()

○友達と強いきずなでつながるためには、どんなことが大切だと思いますか。

